

## 第6回地域審議会会議録

(敷島地区)

### 1. 日時

平成20年11月12日(水)

19:00～21:15

### 2. 場所

甲斐市敷島庁舎2階：会議室C

### 3. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 副会長あいさつ
- (3) 市長あいさつ
- (4) 部長あいさつ
- (5) 会長選任
- (6) 審議事項
  - 1) 平成20年度事業状況報告
  - 2) その他
- (7) 閉会

### 4. 出欠席者

- (1) 出席委員[8名] ※委員名簿は別紙
- (2) 事務局  
保坂市長、小田切企画部長、敷島支所市民課 飯沼リーダー、  
企画課総合政策担当・有泉リーダー、石合、宮川
- (3) 欠席委員[2名]  
窪田副会長、石川委員

### 5. 議録

- (1) 開会
- (2) 副会長あいさつ  
(副会長欠席のため割あい。)
- (3) 市長あいさつ  
10月3日に市長に就任した。委員の皆さんには長年にわたりご指導いただき感謝する。地域審議会は市民に身近な団体であり、市民の声を審議会に反映していただき、市の政策作りに役立てていきたい。本日も大卒だが、担当より大きな事業についてご説明ご報告させていただき、皆さんのご意見を頂戴したい。竜王駅については周辺整備を進めている。観光面等も併せて今後進めていきたい。また乳幼児医療費助成等についても今後検討していきたいと考えている。

(4) 部長あいさつ

11月から企画部長となった。地域審議会のスタート時の平成18年の5月に企画課長であった。合併して4年が経過し、委員の皆さんにはご支援ご協力をいただいている。新市建設計画の実現に向け、いろいろな課題等がある。今後ともよろしくご審議をお願いしたい。

(5) 会長選任

[事務局]

敷島地区地域審議会の前会長は自治会連合会の地区会長であり、竜王、双葉地区の地域審議会も自治会連合会の地区会長をお願いしている。今回も自治会連合会の会長である山口委員をお願いしたい。

(一同異議なし)

それでは、山口委員に会長をお願いすることに決定とする。

[会長]

今年、自治会連合会の会長となり、他地区でも連合会の会長が地域審議会の会長になっているということなので、会長を受けることになった。先輩方も多いがご容赦いただきたい。委員の皆さんのご協力をお願いしたい。

(市長退席)

(6) 審議事項

1) 平成20年度事業状況報告

[会長]

事務局より一括説明願う。

[事務局]

(資料を用いて説明)

[会長]

何かご意見があればお願いしたい。

[委員]

竜王庁舎の軽自動車を含めた駐車スペース、また通学路の歩道や抜け道の対応はどうなっているのか。

[事務局]

新たに北門を設ける。現在の歩道橋は残る。詳細は庁舎建設検討委員会で審議していく。

[委員]

防災公園の件で、地域の声を聞くというのはいつ頃か。

[事務局]

今年4月に素案ができた段階で、市ホームページを利用して公園計画に関するパブリックコメントを実施した。意見等の提出はなかった。今後直接地域に入ってというのは、今のところない。

[委員]

防災公園は完成すれば大規模な公園となる。南側に接する道路は、一部広くて一部狭い。通路路でもある。このところ3件の交通事故が発生している。幅幅の予定はあるのか。

[事務局]

幅幅については把握していない。この公園整備は、敷島中学のテニスコート整備として始まっているが、防災拠点としての機能を持たせることで国の補助事業として実施できることもあり、現在の計画となった。

[会長]

防災への離発着は可能か。

[事務局]

スペース的には可能だが、指定を受けなくてはならないと思う。防災安全課に確認し進める。日常はグラウンドゴルフなどの利用は可能。

[委員]

関連で、上町北のグラウンドゴルフの場所として整備したところがあるが手狭になった。その隣に以前、焼却灰の埋立地だったところがあり、何も使用していないがそこを利用することはできないか。

[事務局]

定期的な水質検査を行っており、環境衛生面で問題がある。市の管理地としたい。

[委員]

敷島体育館についての耐震はどうなっているのか。

[事務局]

敷島体育館は平成3、4年頃の建物。昭和58年以降の建物は基準を満たしていて、安全ということだが、天井の石膏ボードが落下しないように対処するよう、担当である教育委員会に話しておく。

[委員]

クラインガルテンはゆうのう敷島が指定管理となっている。以前まで、その管理センターとして使用していた自然休養村センターは、今使っていない。調理室の使用はどこに言ったらよいか。

[事務局]

敷島の地域課となる。

[委員]

下水が臭いのだが、それも地域課でよいのか。

[事務局]

よい。自然休養村センターについては、市としても、もっと有効利用したいと考えている。

[委員]

中下条公園の遊具や学校の遊具の点検も必要。また中学生がバイクを盗む事件が2件起きている。おそらく敷島中学の生徒だが、学校側も証拠がないので特に指導もしていないようだ。教育委員会に話してもらえないか。

[事務局]

間違いなく敷島中学の生徒かどうか分からないと教育委員会から指導というのは難しい。

[会長]

地域審議会でこういった話題が出たということ、教育委員会に話しておいてもらいたい。

[委員]

災害支援計画だが、障害者や高齢者のみの世帯などの対応についてどのように考えているか。また、自治会、地域の対応を今後要請していくのか。

[事務局]

安否の確認に使用するために整備。個人情報について了解して手をあげた人について、自治会、地域へ流していく。65歳以上といっても元気な高齢者もいて自力で避難が出来る。障害者については手つかずの状況なので、今後理解を得ながら進める。地域でいざという時に互いに助けるといふ体制づくりを進めたい。

[委員]

名簿に載っていないなくても地域で把握し、助けていく必要がある。

[委員]

上町北は、組で掌握している。

[委員]

学校給食だが、米については甲斐市産を使用していると把握しているが、野菜についてはどうか。

[事務局]

野菜については価格や量等の問題で、すべて甲斐市で賄うのは難しいと聞いている。

[委員]

甲斐市には道の駅がないが、計画はあるのか。

[事務局]

市内には、クラインガルテンの直売所、農の駅、農協直売所があるので、これらを伸ばしていく必要がある。また広域農道が完成した時にどうするかということも検討していく必要がある。

[委員]

市の保育園の耐震状況はどうなっているのか。

[事務局]

市内には公立が8園、私立が8園、全部で16保育園ある。公立について耐震調査をしている最中である。敷島地区については昨年行った。松島保育園はよいが、敷島保育園は一部について耐震整備が必要ということであった。学校との兼ね合いもあるが、市内で優先順位をつけ、21年度から耐震を進めていきたい。私立においても耐震調査をお願いしている。

[委員]

敷島支所建設地にある青空市場のプレハブはいつ頃撤去するのか。

[事務局]

詳しい時期は聞いていないが、22年度中になると思う。

[委員]

大久保の授産施設と、現在使用されていない木工機械の使い道はどのように考えているのか。

[事務局]

木工製品については、クラインガルテンで売り、売上金は社協に渡している。木工機械については、何年も使っていないため、使用できるのかわからないので、今後の利用について具体的には今のところ計画はない。備えつけの機械の移動も難しい。

[委員]

せっかくある機械なので、休養村等で使用できればよいと思う。

[事務局]

機械を指導する人も必要。

[委員]

機械は使っていないと使用は難しい。

[会長]

一度使えるのか機械をみてもらったほうがよい。

[会長]

新しい敷島支所についてだが、省エネの設計となっているのか。また職員数はどれくらいを想定しているか。現在の敷島支所の利用はどのように考えているのか。

[事務局]

本庁も支所も建設の理念は同じと考えている。職員数については、組織的な見直しに伴うので、現在検討中である。支所の跡地利用は、現時点では具体的な方向性は出ていないが、今後引き続き検討していく。

[会長]

敷島支所建設地西側の水路に溝蓋をかけられないか。危険である。

[委員]

土地の有効利用のため考えてもらいたい。また総合文化会館の駐車場の砂利部分についても舗装を考えてもらいたい。

[会長]

北公園の建設計画の扱いはどうなっているのか。

[事務局]

敷島町時代に計画決定されていた。都市公園の性格も含めた防災公園として、北公園の計画面積を縮小し、その分を志麻の里防災公園に位置付けた。

[会長]

その辺についても審議会に諮るべきだと思う。

[事務局]

財政的な問題もあり、事業に優先順位をつけて取り組んでいくのでご理解いただきたい。

[会長]

3地区を結ぶ循環道路はどうなっているのか。また支援計画で65歳以下の例えば、精神障害者の方たちの支援についてはどうか。支援計画の自治会への連絡についてはどのように考えているのか。北口側の駐輪場で南に比べ駐輪台数が多いのはなぜか。駅周辺の土地利用また市内循環バスについての考えと山交駐車場との連携、乳幼児医療費の現状や予算の面で分かたら教えていただきたい。出来れば6年生までの助成をお願いしたい。

[事務局]

循環道路については、開発1号等、随時整備していく。支援計画には、精神障害者等も盛り込んでいる。自治会への話しは支援マニュアルができれば、防災安全課から指導をしていく形になると思う。北口の駐輪場については、詳細については把握していないが、北部からの学生が多く利用することも含んでいると思う。竜王駅については、周辺の土地利用について、マスタープランや市職員によるプロジェクトで検討している。市内循環バスについては、市の公共交通協議会で検討を行っていく予定でいる。山交とは直接コンタクトはとっていないが今後検討していく必要もある。乳幼児については、6年生までの助成が望ましいが、検討の段階である。

[会長]

駅の整備と併せ、パークアンドバスライドなどを推進していく必要があると思う。

[事務局]

市の地域公共交通活性化協議会で検討していく。

## 2) その他

[事務局]

(資料を用い、「特定健診」「わくわくフェスタ」「敬老福祉大会」の3事業について説明)

[事務局]

市長から無駄を排除するよという話があった。敬老福祉大会については、今年は県民文化ホールに持ち出して実施した。65歳以上の甲斐市人口約12,000人のうち、約1,200人の参加であった。事業費は約600万。このままでよいのかどうかといったところを委員の皆さんにお聞きしたい。

[委員]

地域のイベントが少なくなった。盛大にやるのもよいが、財政面を優先したほうがよいのではないか。

[委員]

現状の見直しをする必要がある。甲府に持ち出すのもよくない。身の丈でやったほうがよいのではないか。根本的に考え直し、地域へ戻したらどうか。

[委員]

地区によってはお願いして大会に出てもらっているところもあり、役員さんたちが苦勞しているようだ。毎年ではなく、3年とか5年に一回、大きな大会をやるということでもよいと思う。

[委員]

市のお祭りや敬老福祉大会などを一体化して、地域に戻すのもよいと思う。わくわくフェ

スタだが、出店テントなど、ブース分けしたほうが分かりやすいと思う。

[委員]

わくわくフェスタだが、出店者の負担があり、販売の内容によっては赤字になってしまう。  
地域ごとに実施したほうがよい。

[委員]

清川地区では、9月15日に地区独自でも敬老会を実施し、両方に参加となるのでかなりの負担となる。

[会長]

敬老福祉大会、わくわくフェスタの両方とも見直したほうがよい。  
地域審議会は年何回実施しているのか。

[事務局]

概ね年2回。

[会長]

重要案件も多いため、中間的な開催もお願いしたい。  
次回開催時には、防災公園や幹線道路整備の図面をつけてほしい。  
以上で審議を終了する。

(7) 閉会